

平成26年度一般会計当初予算 227億1,300万円

平成26年第1回つがる市議会定例会において、平成26年度つがる市一般会計当初予算が可決されました。平成26年度一般会計の予算規模は、227億1,300万円、前年度当初予算に比べて5億3,300万円（2.4%）の増となっています。私たちの暮らしに活かされる平成26年度当初予算を紹介します。

**一般会計予算を市民1人あたりにすると
64万687円** 平成26年3月1日現在の人口
35,451人で計算したものです。

目的別	金額	目的別	金額
民生費	17万6,493円	総務費	4万8,561円
農林水産費	9万9,855円	消防費	4万1,783円
公債費	9万2,914円	商工費	7,260円
土木費	5万9,375円	議会費	6,567円
衛生費	5万3,264円	労働費	3,297円
教育費	4万9,908円	予備費	1,410円

用語の説明

歳入

■使用料及び手数料

市の施設の使用料や住民票などを交付したときの手数料など

■繰入金

一般会計、特別会計、基金の間で相互に運用されるお金

■地方交付税

地方自治体ごとの財政運営の均衡をとるため国から交付されるお金

■市債

市が事業を進めるため、国や銀行等から借りるお金

■国庫支出金

特定の目的の財源として国から交付されるお金

■県支出金

特定の目的の財源として県から交付されるお金

■地方消費税交付金

市民の皆さんが納めた消費税の一部を財源として県から交付されるお金

■地方譲与税

一度国税として徴収され、その後市町村に分配されるお金

歳出

■民生費

福祉や年金、医療、保育所運営などに使われるお金

■農林水産業費

農林水産業の振興や農道などの整備に使われるお金

■公債費

市の借入金（市債）の元金や利子の償還に使われるお金

■土木費

道路や公園の維持補修や整備のために使われるお金

■衛生費

各種健診や予防接種などの保健関係、ゴミやし尿の処理などに使われるお金

■教育費

小中学校の運営や教育、文化、スポーツの振興などに使われるお金

■総務費

全般的な管理業務や財政、財産管理、徴税、選挙などに使われるお金

■消防費

消防、防災、災害対策などに使われるお金

■商工費

商工業や観光の振興に使われるお金

■議会費

市議会の運営のために使われるお金

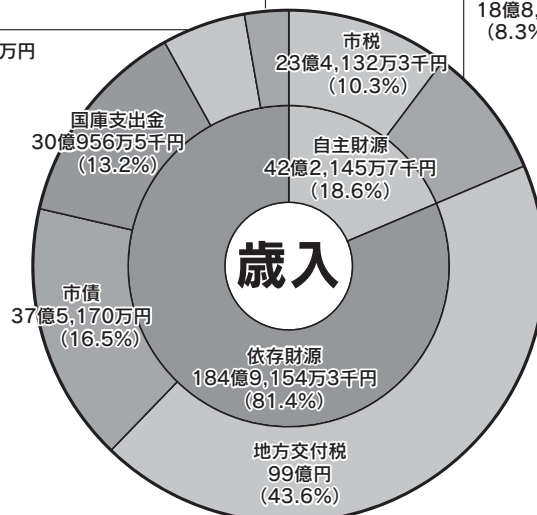
■労働費

雇用の安定のために使われるお金

その他
地方消費税交付金、地方譲与税など
6億5,484万8千円
(2.9%)

県支出金
11億7,543万円
(5.2%)

その他
使用料及び手数料、
繰入金など
18億8,013万4千円
(8.3%)



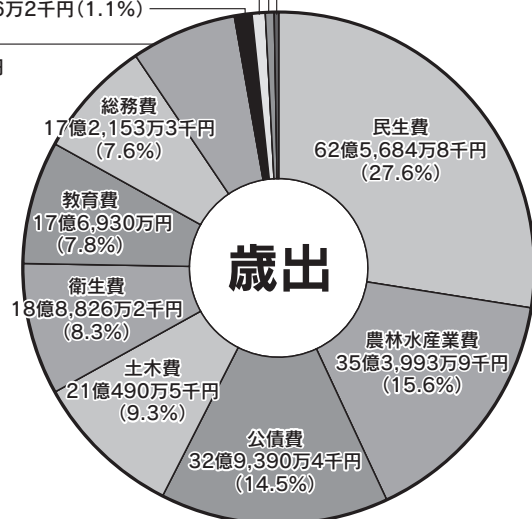
予備費5,000万円(0.2%)

労働費1億1,686万6千円(0.5%)

議会費2億3,282万1千円(1.0%)

商工費2億5,736万2千円(1.1%)

消防費
14億8,126万円
(6.5%)



会計別当初予算額

(△は減)

会計の名称	平成26年度	平成25年度	増減率
一般会計	227億1,300万円	221億8,000万円	2.4
特別会計	117億6,936万5千円	115億7,649万3千円	1.7
農業集落排水事業	6億8,253万6千円	6億2,073万8千円	10.0
公共下水道事業	7億46万7千円	6億4,509万5千円	8.6
国民健康保険	54億8,734万8千円	54億56万2千円	1.6
後期高齢者医療	6億7,173万6千円	6億7,574万円	△0.6
介護保険	42億2,727万8千円	42億3,435万8千円	△0.2

予算編成に当たって

平成26年度当初予算の編成にあたっては、つがる市総合計画に基づく施策の重点化と財政規律の堅持を基本方針とし、「少子高齢化対策の推進」、「安全・安心なまちづくり対策の充実」、「社会資本整備の推進」を本市の重要課題として捉え、「選択と集中」の手法により果敢に取り組むこととしました。

平成26年度予算における重点プロジェクト

～つがる市総合計画後期基本計画の6つの基本目標～
(1万円未満は四捨五入)

①潤いと誇りに満ちた活力ある産業づくり **産業・経済**

つがるブランド推進会議補助金	2,825万円
つがるブランドを推進するため、県内外におけるPR活動、商品開発、農産物ブランド化推進団体助成等を行います。	
食産業ネットワーク未来プロジェクト事業	597万円
食にかかわる幅広い関係者が連携し、新たな産業の創出に取り組みます。	
集出荷氷温貯蔵施設建設事業	2億6,364万円
農産物の集出荷氷温貯蔵施設建設の本体建設工事を実施します。	
機構集積協力金等交付事業	4,000万円
農地集積協力交付金および規模拡大交付金。	
新規就農総合支援事業補助金	6,600万円
青年の就農意欲の喚起と就農後の定着を図るため、新規就農者に年間150万円(最長5年間)の支援を行います。	
地域振興対策事業	9,940万円
緊急雇用創出対策としてつがる市観光コンシェルジュ人財育成事業を実施します。	
企業誘致対策	1億796万円
施設改修工事および監理委託料、つがる市コンシェルジュセンターに係る市奨励金。	
商工業対策事業	2,625万円
中心市街地の活性化対策等に取り組めます。	

②個性と郷土を大切に作る心豊かな人づくり **教育・文化**

車力地区統合小学校建設事業	5,700万円
車力地区統合小学校建設の設計を行います。	
学校教材等備品整備事業	2,646万円
小中学校に電子黒板を導入し教育環境を整備します。	
自治組織活動助成事業補助金	4,600万円
自治会組織の備品整備や集会施設トイレ改修に対する補助を行います。	
姉妹都市国際交流事業	1,111万円
姉妹都市米国メイン州バス市との交流を通して異文化の相互理解を深め、国際感覚豊かな人材を育成します。	
遺跡発掘・保存事業	5,691万円
世界遺産登録に向けて亀ヶ岡遺跡の史跡地の買収や遺跡発掘調査を行います。	

③快適とやすらぎのある暮らしづくり

生活環境

有害鳥獣駆除補助金	215万円
捕獲罟導入等有害鳥獣対策を行います。	
農地・水保全管理共同活動支援事業	8,158万円
市内の各活動組織が取り組む自然環境や農地の保全に関する共同活動を支援します。	
地域住宅支援事業	6億3,384万円
魅力ある住環境の整備として桜木団地建て替え工事(平成26年度8棟39戸)を行います。	
消防施設整備事業	2億5,515万円
消火栓新設、コミュニティ消防センター(川除、豊川、善積)建設等を行います。	

④活発な交流とふれあいの拠点づくり

都市基盤整備

交通対策事業	1,675万円
地域の生活に必要な交通確保のため、路線バス維持補助、乗合タクシー運行に取り組みます。	
エネルギー対策事業	8,760万円
森田公民館、柏ふるさと交流センター等に太陽光発電システムを導入します。	
道路橋梁事業	5億4,117万円
地域経済振興と雇用対策を図るため、生活環境基盤路線である市道の維持・整備を行います。	
除雪対策事業	3億5,875万円
冬期間の市民の安全確保に取り組むため、除排雪業務や防雪柵設置工事を行います。	

⑤お互いを認め合い支え合う共生のこころづくり

保健・医療・福祉

障害者福祉対策事業	9億7,452万円
障害福祉サービス費等給付し障害者福祉対策を行います。	
母子福祉対策事業	1億1,685万円
安心して子育てができる環境づくりのため中学生までの子ども医療費全額助成を行います。	
市民特別検診事業	2億2,100万円
市民の健康保持のため各種健(検)診事業を行い、がん検診については無料化の全額助成を行います。	
胃がん撲滅検診事業	374万円
20～39歳の市民を対象としてピロリ菌検査、除菌費用を全額助成し胃がん撲滅に努めます。	
臨時福祉給付金、子育て世帯臨時特例給付金	1億5,352万円
消費税率引き上げに伴い、臨時的な給付措置を行います。	

⑥みんなで考え実行するまちづくり

行財政運営

広報事業	1,662万円
市広報紙を年12回発行・毎戸配布し、市政情報を提供します。	
議会広報発行事業	171万円
議会広報を発行・毎戸配布し、議会活動を報告します。	
出張所管理費	1,362万円
市民の利便性向上を目的として出張所を3箇所(つがる、稲垣、車力)設置します。	
合併10周年記念事業	1,512万円
つがる市誕生10周年を記念して祝賀会等記念事業を行います。	